

みやぎ復興プレス

「みやぎ復興プレス」では、東日本大震災により被災された方をはじめとした復興に関わる多くの方々に、宮城の復興状況やイベント、被災者支援など、復興に関する主な情報をお届けします。メールマガジンやWebサイトとも連動し、多くの皆さまのお手元に情報をお届けしますので、よろしくお願いいたします。

目次

- p1 トピックス：地域医療の復興に向けて
- p2 みやぎ“復興人”：特定非営利活動法人移動支援 Rera、応援職員紹介
- p3 月刊ココロプレス
- p4 県からのお知らせ、復興イベント情報



メールマガジンによる配信も行っています！ 配信を希望される方は、1お名前、2お住まいの都道府県、3ご所属（個人の方の場合は不要）をメール本文に記載して fukusuim@pref.miyagi.jp まで送信願います！

トピックス



地域医療の復興に向けて

～安心して生活できる地域を目指して～

医療と保健・福祉の拠点が開設

平成27年12月14日、南三陸町に「南三陸病院・総合ケアセンター南三陸」が開設されました。

東日本大震災の津波により、公立志津川病院と南三陸町志津川保健センターは全壊し、再建が進められてきました。



新しく完成した南三陸病院は、地域医療の基幹病院として内科、外科、小児科をはじめとする10科での外来診療を行います。病床は90床で、訪問看護による在宅療養の支援も行います。

総合ケアセンター南三陸には、保健センター、地域包括支援センター等が入り、保健福祉の拠点となります。

病院と総合ケアセンターの連携による包括的なケアを進め、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを目指しています。



国内で37年ぶりの医学部が新設されます

平成28年4月、仙台市の東北薬科大学に医学部が新設され、新たに「東北医科薬科大学」が開学します。医学部新設は、国内で約37年ぶりとなります。

東北地方では、震災以前から医師不足の状況にありましたが、震災後は特にその傾向が顕著になり、抜本的な医師確保対策が急務となりました。



東北薬科大学 小松島キャンパス

そこで、県では国に対して東北地方への医学部新設を要望し、「創造的復興」の象徴にもなる事業として取り組みを進めてきました。

東北医科薬科大学では、参加型臨床実習などの特色のあるカリキュラムを通じて、地域医療を学びます。また、卒業後に知事が指定する県内の医療機関などに10年間勤務すると返還が免除される「東北地域医療支援修学資金」を設けます。

全国から優秀な医学生が集まり、震災からの復興と東北地方の地域医療の充実に貢献することが期待されています。



東北薬科大学病院

平成28年夏頃には、津波で全壊し再建中の石巻市立病院の開設が予定されており、これで県内の被災した全ての病院で診療が再開されることとなります。加えて、新しい医学部で将来の地域医療の担い手が育成されることで、より安心して生活できる地域社会の構築に期待が広がります。

【問い合わせ先】 県医療整備課 ☎022-211-2618 URL: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/iryou/>
 県医師確保対策室 ☎022-211-2465 URL: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/isikakuho/>
 東北薬科大学 ☎022-234-4181 URL: <http://www.tohoku-pharm.ac.jp/new/index.cgi>



今月の復興人は、震災以降、石巻市を中心に身体的・経済的な理由で移動が困難な方を対象に送迎ボランティアを行っている「特定非営利活動法人移動支援Rera（レラ）」代表の村島弘子さんにお話を伺いました。

●活動を始めたきっかけを教えてください。

私は北海道の出身で、震災当時は千葉県にある研究農場で働いていました。被災地の惨状を新聞やテレビで見て「何かしたい」と思い、仕事の契約も3月末までだったので被災地に行くことを決意しました。そして、石巻市で障害者支援を行っていた北海道の「特定非営利活動法人ホップ障害者地域生活支援センター」（以下「ホップ」）を探し出しました。4月から「移動支援Rera」を組織し、ホップ本来の活動である送迎サービスを行うというので、ボランティアとして参加しました。

ホップ代表の竹田さんは、長期的なスタッフ派遣や資金提供には限界があり、「いずれは地域の人を中心となってやるべき活動」と考え、活動開始から1年後、地元メンバー中心のNPO法人となりました。資金的に窮していましたが、利用者からの切実な継続要望や支援を続けたいというスタッフの強い思いもあり、今日に至っています。



▲スタッフの皆さん（一番左が村島代表）

●どのような取り組みを行っているか教えてください。

震災直後は、多くの方が車を流失し、公共交通機関も機能しなかったため、ほぼ全ての方を対象に送迎を行いました。

交通手段の回復後は、バスやタクシー等の利用を大前提とし、それでも身体的・金銭的に公共交通機関の利用が難しい障害者や高齢者を中心に、病院などへの送迎を行っています。



ブレーキのかけ方に注意したり、きれいに舗装された道を選ぶなど、利用者の体調に気を配りながら丁寧な運転を心がけています。

●課題は何ですか。

資金繰りです。これまでは、公的機関からの補助金や寄付金等で活動を続けてきましたが、来年度以降、補助金等をいただける保証はありません。活動資金を安定的に確保し、継続できる仕組みづくりを模索しています。

●今後の抱負をお聞かせください。

この震災で、移動困難者の存在が顕在化しました。少子高齢化などにより、今後一層この活動の需要は高くなると考えています。地域の方の理解と協力、そして、行政や関係機関との連携により、地域で支え合う仕組みをつくっていきたいと思います。

特定非営利活動法人 移動支援Rera

☎0225-98-5667

URL: <http://www.npo-rera.org/>

全国の皆さま ご支援ありがとうございます！

応援職員紹介コーナー Vol.39



氏名 小松 繁 (コマツ シゲル)
派遣元 秋田県
所属 石巻港湾事務所

秋田県から派遣されて1年と8カ月が過ぎました。石巻市雄勝港の港湾施設災害復旧を担当しています。いろいろな調整のある中、日々確実に復旧・復興が進んでいると感じています。派遣期間が残りが少なくなってきましたが、雄勝で出会った温かい人たち、美しい景色は今まで感じたことのない素晴らしいものでした。残りの期間も復興の加速を感じてもらえるよう頑張りたいと思います。



氏名 高島 優 (タカシマ ユウ)
派遣元 富山県
所属 石巻港湾事務所

「海の宝石」と呼ばれるホタルイカが有名な富山県から来ました。今では、宮城県産の海産物に魅了されつつあるところであります。

現在は、防潮堤の災害復旧工事を担当しており、スピード感のある復旧・復興を意識しながら毎日業務に励んでおります。半年間という短い期間ではありますが、出来る限り宮城県に貢献したいと思っております。



氏名 大崎 浩夫 (オサキ ヒロオ)
派遣元 岡山県
所属 農業農村整備部（石巻）

白桃とブドウが有名な岡山県から来ました。4月から石巻市大川地区で農地・農業用施設災害復旧事業の業務を担当しています。赴任時には海没していた農地が干陸化され、現在は行方不明者の捜索も行われています。改めて東日本大震災の被害の大きさを実感しています。今後、農地に作物栽培が可能となるまで、多くの課題がありますが、1日も早い復旧・復興を願って、頑張っていきたいです。



氏名 細束 和弘 (ホソカワ カズヒロ)
派遣元 徳島県
所属 農業農村整備部（石巻）

阿波踊りやすだちで有名な徳島県から来ました。4月から東松島市大曲地区及び三輪田地区の農地の復旧・復興に関する工事監督等を担当しています。

支援の立場で来ていますが、職場や地域の人と接すること、豊かな自然、おいしい魚介類・お酒により、逆にパワーをもらっています。任期まであとわずかですが、少しでも復旧・復興に貢献できるよう頑張ります。

「ココロプレス」は宮城県の復興を応援するブログです。

宮城の復興状況や生活再建に懸命に取り組む人々の姿、全国から寄せられる力強く温かい応援の様子などを随時発信しています。

おかげさまで1800記事・160万アクセスを超えました。

宮城の復興情報を募集中です!

復旧復興のPRや支援の取り組みなど、伝えたい情報を、下記メールアドレスまでご連絡ください。

fukusuip@pref.miyagi.jp

必要事項: 1取材対象/2取材希望日/3取材場所/4御担当者氏名/5電話番号

※内容や日程によってはご希望にそえない場合もございますので、ご了承ください。



ココロプレス 検索

2015年11月23日 月曜日掲載

こころのケアをこれからも～
仙台YWCAの支援活動 (仙台市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/11/ywca.html

「仙台YWCA震災復興支援室『こころの杜』」。震災以来、「こころのケア・ボランティア養成講座」「仮設住宅を訪問し傾聴するお茶っこサロン」「Y(わい)わいマルシェ」「温泉への日帰りバスツアー」「スタディツアー」などの支援活動を続けています。



2015年11月30日 月曜日掲載

地域資源が循環するエコタウン
南三陸BIOが完成しました (南三陸町)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/11/bio.html

復興計画に「バイオマス産業都市構想」を盛り込む南三陸町。10月16日、「アマタホールディングス(本社・京都市)」のバイオガス施設「南三陸BIO(ビオ)」が竣工しました。『森・里・海・街の豊かさが循環するまち』の実現の第一歩です。



2015年12月3日 木曜日掲載

たくさんの応援支援を受けて～
5年ぶりにお神輿が復活しました! (山元町)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/12/5.html

11月1日、山元町花釜地区の青葉稲荷神社で、待ちに待ったお神輿巡幸が復活しました。「5年ぶりにお神輿が帰ってきた!」「子どもたちの元気な声、久しぶり」。全国から駆け付けたボランティアとともに、いっぱい笑顔でお神輿を迎えました。



2015年12月9日 水曜日掲載

多賀城市で総合防災訓練
～自分の命は自分で守る～ (多賀城市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/12/blog-post_9.html

11月18日、多賀城市で全市一斉の総合防災訓練が実施されました。「マグニチュード9.0、震度6強の大地震が発生し大津波警報が発令」という想定で行われた今年の訓練。AED訓練や救助訓練などに中学生も含めた多くの方々が参加しました。



2015年12月11日 金曜日掲載

石巻市・新蛇田地区のまちびらき
(石巻市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/12/blog-post_71.html

11月3日、石巻市の新蛇田地区で「まちびらき」が開かれました。ここはすでに400世帯以上が移り住み、最終的には1200世帯以上が暮らす被災地最大の防災集団移転団地。こうしたイベントをきっかけに、住民同士の交流が少しずつ深まっています。



2015年12月15日 火曜日掲載

唐桑ごっつおーフェアが
開催されました (気仙沼市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/12/blog-post_15.html

11月29日、気仙沼市唐桑地区で、地元の味覚を紹介する「唐桑ごっつおーフェア」が開催されました。会場には市内をはじめ県内外から約5000人が訪れ、唐桑の自慢の味に舌鼓を打ち、郷土芸能「大沢打ち囃子」などを楽しみました。



「東日本大震災復興フォーラム in 東京」を開催します

東日本大震災から5年を迎えるに当たり、首都圏にお住まいの方や企業・団体を対象に、被災地の復興状況や取り組み等について情報発信し、震災の記憶の風化防止・風評払拭と継続的な支援を呼びかけるため、青森県、岩手県、宮城県及び福島県の東北地方被災4県と東京都の共催により、フォーラムを開催します。

【フォーラム概要】

日時	平成28年2月10日(水) 14:00~16:30
場所	有楽町朝日ホール(東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン11・12階)
内容	【講演】 生島 ヒロシ氏(フリーアナウンサー) 【復興ライブ】 濱守 栄子氏(シンガーソングライター) 【事例発表】 復興に向けた多様な取組
申込みについて	電話、FAX、インターネットの方法で、平成28年2月1日(月)までとなります。詳しくは下記あて問い合わせ願います。

☎ 東日本大震災復興フォーラム実行委員会
TEL: 022-374-6860
FAX: 022-771-8307
URL: <http://fukkou-forum.com>

「放射線・放射能に関するセミナー」を開催します

放射線に対して私たちの体がつ防護システムや、健康を守る工夫などについてわかりやすく解説し、疑問・質問にお答えします。

【セミナー概要】

テーマ	放射線の影響と健康に生きていくために
講師	公益財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター基礎研究部 室長 宇野賀津子氏
日時	①平成28年1月22日(金) ②平成28年1月23日(土) ともに13時30分~15時30分
会場	①県大崎合同庁舎5階501会議室 ②県庁1階みやぎ広報室
入場料	無料
測定実演	自然界の放射線をご覧ください。
申込みについて	事前の申込みが必要です。また、定員は50名(先着順)となっています。県ホームページ、県・市町村窓口のリーフレット裏面の参加申込書により下記までお申し込みください。

☎ 県原子力安全対策課
TEL: 022-211-2340
FAX: 022-211-2695
URL: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gentai/seminar.html>

➤ 復興 イベント情報

凡例 ☐ 日時、期間 ☐ 場所、会場 ☐ 問い合わせ

マリナル女川おさかな市場 たら祭り(女川町)

水揚げされたばかりの新鮮な「たら」を格安でご提供。今が旬の「たら」は、鍋物や揚げ物・バター焼きなど様々な料理にお使いいただけます。当日は、おさかな市場特製たらのみすり身汁の振る舞いもあります。

☐ 平成28年1月9日(土)~10日(日)
両日とも10:00~15:00

☐ マリナル女川おさかな市場
☎ マリナル女川事業協同組合
☎ 0225-54-4714

ゆりあげ港朝市「初売り」(名取市)

早朝から採れたての野菜や新鮮な海の幸が並ぶ名取市ゆりあげ港朝市。牡蠣汁の振る舞いや豪華賞品が当たる餅まき、太鼓演奏などのイベントが行われます。

☐ 平成28年1月10日(日) 6:00~13:00

☐ 名取市閑上5丁目23-20
☎ ゆりあげ港朝市協同組合(メイプル館)
☎ 022-395-7211

あそぶさございん!セツ浜deお正月(セツ浜町)

毎年恒例のお正月イベント。餅つき、書初め、お茶席、福笑い、お手玉などの昔懐かしい日本の遊びを体験できます。駄菓子屋さんの「とすけ」(くじ引き)もあります。

☐ 平成28年1月24日(日) 12:00~14:00

☐ セツ浜国際村
☎ セツ浜国際交流協会事務局(セツ浜国際村内)
☎ 022-357-5931

寒鰯まつり福興市(南三陸町)

寒鰯を使ったメニューや地元名産の海産物や農産品を中心とした物産テント、飲食ブースの他、全国各地からの応援ブースも立ち並び、ステージでは多彩なイベントも行われます。

☐ 平成28年1月31日(日) 9:00~14:00(予定)

☐ ベイサイドアリーナ特設会場(予定)
☎ 南三陸町福興市実行委員会事務局
☎ 090-7077-2550

イベントの日程・内容などは変更される場合がありますので、お出かけ前に、それぞれの問い合わせ先にご確認ください。

みやぎ復興プレス 第44号

【発行日】平成28年1月1日 【発行】宮城県震災復興本部(事務局:震災復興推進課)

電話: 022-211-2443 e-mail: fukusuif1@pref.miyagi.jp

宮城県ホームページ「震災復興推進課」 [URL http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/](http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/)

「震災・復興」 [URL http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/](http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/)

